

徳島県総合計画審議会・未来創造部会からの報告

1 設置目的

次期計画に新たに加える「10年程度先」を見据えた「成長戦略」である「中期プラン編」の素案策定

2 「中期プラン編」素案の策定経緯

平成22年7月 1日 第1回部会 中期プラン構成等の検討
 9月22日 第2回部会 中期プラン構成等の検討
 平成23年1月28日 第3回部会 中期プラン素案の検討
 3月16日 第4回部会 中期プラン素案の決定

3 「中期プラン編」素案内容

資料2「1頁～9頁」及び「10頁以降の中期プラン編（左側頁部分）」
 のとおり

【参考】 未来創造部会委員（審議会委員から5名 専門委員6名）
 （50音順、敬称略）

	氏名	現職等	備考
部会長	近藤 光男	徳島大学大学院 教授	
副部会長	近藤 明子	四国大学助教	
	林 志歩	(特)新町川を守る会 会員	H23.3.14退任
	原田 幸	徳島県青年連合会 副会長	
	山上 敦子	(社)徳島県医師会 常任理事	
	小部 博正	美波みなとまちづくり協議会 委員	専門委員
	津川 なち子	徳島県環境カウンセラー協議会事務局長	
副部会長	服部 和彦	徳島県商店街振興組合連合会青年部 会長	
	浜口 伸一	会社役員	
	浜口 智子	野菜ソムリエコミュニティ徳島 幹事	
	藤崎 耕治	会社役員	

4 未来創造部会での主なご意見

◎全体について

- 右肩上がりの成長が見込めない中で、精神的な豊かさをいかに向上させるか。より豊かな生活を「実感」できる徳島を目指すべき。
- 人口減少社会に真っ向勝負を挑むような視点も必要。

◎「にぎわい」について

- 県内には様々なスポーツで活躍している人がいる。身近な人材にも焦点をあて、一流選手が育つ環境整備を進めることが必要。

◎「経済・雇用」について

- 徳島の企業は、視野が国内にとどまりがちではないか。もっとグローバルな視野でビジネスができるよう、サポートする仕組みが必要。
- 農畜水産物について、消費地に近い地の利を活かし、ブランド力を高め、生鮮食品だけではなく、徳島産の強みを活かせる販路開拓を図るべき。
- 中国市場を視野に入れ、木材を輸出商品として、開発していくべき。

◎「安全・安心」について

- 東日本大震災を踏まえ、抜本的な見直しを前提に地震・津波対策を検討していくべきである。
- 一般の住宅の耐震化工事が進むよう、工法や制度をもう一度検討すべき。

◎「環境・地域づくり」について

- エネルギーの「地産地消」を推進していく必要がある。
- 徳島が誇る水の都として、川に向けた店舗や水上バス、護岸整備等、川を活かしたまちづくりが求められている。
- まちづくりに関して、NPOや民間が、積極的に主体となって動けるような環境づくりを進めることが必要。

◎「教育・福祉」について

- 行政や地域のサポートにより、安心して子どもが産める社会を実現。
- 介護人材を確保するため、中学校に介護のカリキュラムを取り入れ、資格取得等につなげる。
- 青少年を地域全体で育てる意識を広げ、青少年を取り巻く環境を豊かにする必要がある。
- 芸術家が作品を創作している現場など、子どもたちが本物の芸術・文化に触れる機会を創出する必要がある。